

	令和6年3月19日(火) 19時00分～21時00分							
会場	市民プラザあくろす2階 はばたき							
運営委員	会場	村上 むつ子	オンライン	平澤 和哉	会場	横山 真理	会場	水田 征吾
	欠席	加藤 和歌子	会場	毛利 勝	会場	小松 明日香	会場	原島 秀一
	会場	石井 洋子	欠席	阿部 秀樹	会場	浜本 正樹	会場	石正 房江
	欠席	安藤 雄太	会場	佐竹 澄子	欠席	熊谷 紀良	会場	松谷 知彦
	会場	田村 敦史	会場	ニンファ・ジャヤマーンナ				
事務局	橋本、池田、北島、上野							

1 はじめに

- ・1分間近況報告（各委員）

新年度職員人事について報告を行った。

各委員より近況報告を行った。

**承認事項 19:20～19:25 (5M)**

2 令和6年えんがわファンド選考委員の承認について

資料1

**【委員長】** 前回、えんがわファンドの変更点についてご説明を行ったが、今回は選考委員について承認をいただきたい

**【事務局】** 要綱は確定した。4月より相談を受け付ける予定となっている。令和6年度選考委員候補は令和5年度選考委員から変更はない。  
選考委員について承認をいただきたい

運営委員によって、令和6年度えんがわファンド選考委員について承認された。

**協議事項 19:25～20:30 (65M)**

3 各グループの取組みの振り返り

資料2

**【委員長】** 今まで話し合った中で、具体的な進め方について意見を出し合いたい。  
今回はメンバーをシャッフルして、グループワークを行いたい。

**【事務局】** 各グループで、20分程度話し合いを行う予定。事前メールでお送りしていた今後実施したい事柄について意見交換を行っていただきたい。その後、メンバーをチェンジして意見交換を行う予定。グループ変更がない方は、出ている意見をまとめる係を担っていただきたい。

【Better Together グループ】

- ・ スコープとする50代男性の興味をひくようなテーマを考える。そのためにニーズのヒアリングが必要か。
- ・ 来年度のえんがわフェスタの候補の一つになるように。
- ・ ロールモデルのような生き方を感じられるとベター
- ・ 地元企業も巻き込めれば。働きながら地域貢献を考えているような企業あたりを。
- ・ テーマは、「幸せとは」「豊かとは」あたりか。

【高齢者グループ】

- 前回までの議論の積み上げを踏まえ、人とのつながりが少ない高齢者を「居場所」に誘うには、そのような高齢者に「おせっかい」をして導いてあげることが必要ではないか。
- 「おせっかい」には、見守り、背中を押し続けることが大事
- 「おせっかい」には、コツも必要。距離感や環境づくり、タイミングなども重要。1対1でなければいけないわけではない。複数人で、いろいろな個性を用意しながら、その人に最適な背中を押す方を、その都度探しながら行うのがよい。一人に対応すると、背中を押す人が疲弊する可能性もある。
- 「おせっかい」をする場合も、はじめは相手に警戒される。根気よく接することで、はじめは目も合わせてもらえなくても、だんだん話せるような関係になることもある。
- 一方で、あまり関わり合いを持ちたくない人がいることも事実。これまでの議論に出てきた「喫茶店」で、一人でいたいというニーズもある。こういう人には、パンフレットを配架したり、インターネットなどで居場所情報にアクセスできるしくみ、「X」など情報が飛び込んでくるしかけなども効果があるかもしれない。
- 以上の議論から、人とのつながりが少ない高齢者を「居場所」に誘うための「おせっかい」をいかに展開していくための案が生まれた。
  - ・ 「おせっかいスキルをのぼそうプロジェクト」成功体験や失敗体験も含め、人の背中を押す「おせっかい」のスキルを共有する場を設ける。例えば、講演会やワークショップ、面白いしかけとして『『おせっかい』力（りょく）検定』の実施など。

【子どもグループ】

- \* これまでの「こども」ということに限らず、何かやりたいこと
  - ・ 小さいイベント
- えんがわフェスタがとてもよかった。  
他団体とコラボでき、お互いにプラスであった。  
えんがわフェスタのようなことができるといい。

子どもをテーマにしたものを行ってもいいかも  
運営委員で回せる範囲の規模のもの

\*切り口はどうするか？

誰か紹介してもらってのインタビューという話がこれまでにあったが、それはどうなったのか？

→CAPS 平澤氏に聞いたが、子どもに調節インタビューは難しいようだ。

関わっている職員からきくことはOK

小金井にある放課後喫茶への見学の話もあったが、その件はどうだったのか？

→熊谷氏が調整してくれると言っていたが、今日欠席なので不明。

子どもよりも親のケアが必要なのではないか？親の状況が子どもに影響する。

子どものどこに焦点を当てるか・・・

「食育」というテーマはどうか。親が手をかけて食事を作っている家は必ず子供が戻ってくるという話を聞いたことがある。

食べる意時間、一緒に食べるか否か。親（家族）の生活が子どもに絵今日することは大。

e x) 塾から帰って夕食を一人で食べるが、そばに親が座っていて会話がある。

食事は家族バラバラだが、寝るのはみな同じ部屋で一緒

他の家がどうかを知ることもいいのではないか。他の家との違いを知ること。

「食」って大事！

学校の校長先生の話が印象的だった。

「親の作るお弁当は、給食と張り合わなければならない。給食はしっかり栄養を考えてのメニューになっているからと。

学童期の食

学童で冷凍食品ばかり詰まったお弁当を持ってくる子供がいる。

ダメではないが、何か1品手作りのものがあるといいと思う。

親が手作り弁当を作るようになって不登校だった子供が学校へ行くようになった話も聞く。

食べることは大事。

手作りの良さがある。

手作りの良さを伝えるのもいいのではないか

何かみんなと一緒に作ることで、これまで食べなかった食材を食べるようになったという話もある。

食はどの世代、異文化すべてにつながる。

食の大切さを伝える中で、親と子の関り、他者との繋がりになる。

イベント案としては

「食」

案1) 親と子で一緒に何かを作る。ex おにぎりと豚汁

他の親子が作ったおにぎりと食べ比べ

栄養士から話

市内の企業にも協力してもらえるのでは ex キューピー

案2) 調理は子どもだけにして、親と一緒に食べる。

子どもが調理している間は、親は食の勉強

当事者への直接のインタビューは難しいが、イベントを通してならできるのではないか。

参加者はチラシを作り、民生員や運営委員関係の知り合いの気になる親子への声掛けとか…

今後さらの検討 or 確認

何を目的として行うか再確認。

子どもための何をしたかったのか…

次回運営委員会でも継続して話し合いを行っていくこととした。

## 報告事項 20:30~20:50 (20M)

### 4 居場所探訪PJについて

資料3

【事務局】 2年で17ヶ所を訪問。日程を変更し7月6日(土)あくろすホール開催

パネリスト3名、ファシリテーター1名調整中。

部会で継続検討中。企画を進めている。部会に参加したい方は事務局までお声がけいただきたい。こちらのイベントは運営委員会ですすすめていきたいので、当日はご参加いただきたい。

【委員】 居場所探訪プロジェクトについてはレポートをお読みいただきたい。

【委員】 対象は、これから活動を始めたい方か。悩んでいる方も参加可能か。

【委員】 参加可能である。

### 5 災害ボランティア養成講座について

資料4

【事務局】 メールにて講座の広報についてお知らせした。テーマは要配慮者支援なので固い印象を覚えるかもしれないが、災害時避難に障がい者がいるということを、ちょっとでも意識してもらえると感じてもらえたらいいと思っている。

運営委員のみなさんにぜひご参加いただきたい。

### 6 第10回まち活フェスタの実施報告について

【事務局】 3月10日まち活フェスタは無事終了した。

来場1600名。ステージ、駅前、館内に出演し34団体が参加された。

その他 20:50～21:00 (10M)

7 情報共有

【委員】 CAPS 職員募集について

【委員】 地域活動情報誌 じよいなすについて

地域で活動している若者について特集している。市報の特集でも市民活動支援センターについてが掲載されているのでぜひ見ていただきたい。

8 今後の市民活動支援センター運営委員会の開催日時と議案について

資料5

- ・ 4月17日（水）19時～21時 令和6年度第1回運営委員会
- ・ 5月25日（土）14時～16時 令和6年度第2回運営委員会